

川口自主夜間中学への理解を

川口自主夜間中学が作られて25周年になります。そこで、これからの教室の発展を願って、川口自主夜間中学ってどんなところかを整理することになりました。

内容は、今後中国語と英語に訳したものを作り、参加者に理解をしてもらうことになります。

川口自主夜間中学

川口自主夜間中学の基本は、「学びたい人が学ぶ場である。」である。学びたい人とは、生徒だけでなく、スタッフも互いに学んでいくということである。そこで、たんに学習（勉強をする場）だけではなく、教室を通して人間関係を作っていくことで、教室をだれにとっても居心地のよい居場所になるようにしていく。

川口自主夜間中学の目的は

- 1 在日外国人と共に日本語を学ぶ
- 2 読み・書き・算を中心に教科学習を行う
- 3 埼玉に公立夜間中学を作る運動を支持する

この目的を達成するために、参加者は次のことを行うようにする。

- ① 教室はすべての人によって運営される
年に1度行われる全体会を基本として、毎月の運営がされることを自覚し、毎月行われるスタッフ会議には、スタッフは必ず出席する。また、事前に配布される議案を基に、生徒の意見を聞いてくる。さらに、生徒もできるだけ参加するようにする。
- ② 教室で行う行事には、都合をつけて参加をする。
教室では、花見会（他の自主夜間中学と交流） 年2回の交流会（教室での交流会） 社会科見学（できるだけ普段見ることのできない体験を主体に） もちつき会（日本の伝統文化を知る）卒業の会（卒業していく人をみんなで励ます会） 周年行事をおこなっている。
また、川口自主夜間中学を多くの人に知ってもらうために助成金を基に文化行事を行う。
これらの行事を成功させるために、スタッフ・生徒は積極的に参加する。
- ③ 学びたい人だれでも受け入れる体制
教室会場の整理を行い、学びたい人だれでもが気軽に入れる場にしていく。とくに、在日外国人が多いが、日本人が入れるようにしていく必要がある。
不登校、ひきこもり、未就学者は心に大きな悩みを持って学びに来ているために、特に気をつけていかなければならない。
- ④ 埼玉に公立の夜間中学を作る
「埼玉に公立の夜間中学を作る会」を中心に運動がすすめられています。この会のパンフレットを配布することにより、運動を広めていく。
ただし、会に加入することは自由であるが、会費を納入する係を作る。
以上のことが理解できましたので登録用紙に記入して教室に参加します。

5・6月 教室開催日

	川口市民パートナーステーション（火曜日）					川口市栄町公民館（金曜日）				
5月	4日	11日	18日	25日	—	7日	14日	21日	28日	—
6月	1日	8日	15日	22日	29日	4日	11日	18日	25日	—

~~教室は休みです~~

スタッフ会議（5月25日、28日）

学習は8時までになります。
 スタッフ会議の議題は事前に渡しますので、当日までにスタッフと必ず話し合っ
 て、意見を寄せてください。
 スタッフ会議は、スタッフだけでなく、生徒も参加をしましょう。

「なくそう！ 子どもの貧困」全国ネットワーク設立記念シンポジウム

なくそう！ 子どもの貧困 子ども貧困解決元年 2010 に参加して

先日行われたこのシンポジウムに参加をしてきました。当日は全国から400名近くが参加され、子どもの状況が話されました。

ここで話されたことを基に、6月に予定されている参議院選挙に向けて各政党に質問書を出し政策に
 してもらおうように働きかけることにしました。

川口自主夜間中学からは次のような提言をしました。

私たちの会は「埼玉に公立の夜間中学を」という呼びかけのもと、今年で25年間運動を重ねてきま
 した。

埼玉県教育委員会では、公立の夜間中学の必要性を認めていますが、設立義務は市町村があるとい
 うことから、「市町村の申し出を待っています。」といい、市町村に行くと、「自分の市町村以外から生徒
 が来るので設立ができない」ということになります。

この違いから、生徒から求められても、教育の機会均等が図られていません。

そこで、私たちは、運動だけでなく、自主的に教室を開き、学習をしたい人への支援を無償でしてき
 ています。

未就学者、ひきこもり、不登校の生徒が学んでいます。

不登校でも、義務教育の中学卒業までは認め卒業はさせてくれますが、学校へ行っていないとい
 うことから、基礎的な学習が分からないということで、小・中学校の再学習をしたいということで学ん
 ている人もいます。

また、戦争の混乱期に学習ができなかったということから学習に来ている人や女は学習をする必要が
 ないということから学習ができなかったという年配の人もいます。

さらには、外国から父母が日本で働いているために一緒に来ている子供もいます。

ところで、この外国から来る子供たちの問題は、日本語が分からないということと同時に、日本と外国
 では、卒業時期が違うために、16歳で外国の中学を卒業しないで日本に来て、日本は15歳が卒業
 ですので中学へ入れないということが起こっています。

また、外国の事情から中学を卒業しない若い人も増えています。

したがって、中学を出ないまま日本の企業で低賃金で働かされています。

（提言）

次のことを提言したいと思います。

- 1 国勢調査で、未就学者を都道府県別に出すようにする
- 2 国勢調査に基づき、未就学者がいる道県に対して、公立の夜間中学ができるよう指導をする。
- 3 当面都市の近くの県に対しては、在日外国人も増加しているので、国の指導として公立の夜間中学
 を設立する。